

五色池は自然遊びのデパート

中土手に子どもたちの遊び声がこだま

4月17日(日) とても素晴らしい春日和、月例の中土手自然観察会を行いました。久々の観察会に参加した薄井がレポートします。実は久々どころか月例会に参加したのは1年ぶりだったので。普段いろいろなお所でお会いしていても中土手で皆と会い、体を動かすことは本当に気持ちがいいですね。自然観察会というよりも「中土手で遊ぶ会」のほうがいいかもしれません。

子どもたちが来て楽しめる 五色池になりました！

何をいまさらと言うかもしませんが、この日はこども11人、大人14人が集まりました。いつものメンバーのほかに今回は対岸の小松川・平井地区の親子が数組参加。新八(シンパチ)娘たち(中高生)も参加して、とても賑やかでした。

今回感じたことは、9年間五色池の運動を続け



ザリガニが次々に釣れて楽しい親子連れ

5月4、5日 中土手五色池 春祭りで炭焼きキャンプ

投網、ザリガニ釣り、野草と川魚のてんぷら、ヨシ笛、弓矢遊び、ヨシズあみ、^{ぬのぞうり}布草履作り、その他クズの根から採ったくず粉で^{くずもち}葛餅を作るなどいろいろな楽しい行事が目白押し。

キャンプに参加する人は必ず事前に申し込んでください。(4ページに詳報)

て来た成果は、「子どもたちが遊びに来て楽しめる自然環境が完璧に作られた」ということです。

この日楽しんだことを順に報告します。まずは皆が五色池の周りで好きなことをします。親子連れは最初はザリガニ釣りです。ヨシやセイタカアワダチソウに糸を結び、その先にスルメを縛って池にたらすと、まだ赤くならない小さなザリガニがおもしろいほどよく釣れます。子どもたちはもちろん親も夢中です。自然の中で子どもたちの歓声響き、夢中になって遊ぶ姿がここにあります。

常連のお大人たちは水路の補修をしたり、ゴミを拾ったり、鎌や草刈機を使ってヨシや草を刈りながら五色池の自然環境を見て回っています。

中には五色池の水生生物を調べている大人もいます。今回はアオモンイトトンボの成虫を発見し、写真に収めました。

荒川の護岸の上から投網を打つ人もいます。春になって、いろんな魚が海から上ってきて、ボラやスズキのけなげな稚魚がたくさん獲れました。

あるお母さんが卵から孵化したばかりのオオカマキリの幼虫の群れを見つけ、みんなでかわるがわる見たり写真に撮ったりしました。

そして、昼食。恒例のトン汁づくりは新八娘とその弟と石川さんが担当。決めたわけではありませんが自主的に動いています。トン汁の具は皆で持ち寄りです。大鍋にいっぱいのお湯はあっという間になくなってしまいました。初めて参加した人たちもこの頃になるとすっかり打ち解けていきます。お腹がいっぱいになると、いよいよ遊び人たちの出番です。

篠竹で作る紙鉄砲を子どもたちに教え始めます。興味のある大人もいっしょに習います。紙でつぼうの中に差し込む竹ひごを削る作業が、小刀を使ったことのない子どもたちにはなかなかできません。出来上がった紙鉄砲の威力は抜群で、発射するときの快音も素敵です。同じ飛び道具でも、次は割りだけで作った弓矢遊び。枯れたセイタカアワダチソウのクキで矢を作ってやり、飛ばし方を教えます。矢が飛んだ時の自慢そうな子どもの顔を見てこちらも顔が緩みます。

今度はザリガニの塩ゆでをして試食します。何



小さな台を使ってミニヨシズ作り

しろ、一人の子どもが数重十匹も釣ったので、それを食べるかどうかで議論となり、トンボのヤゴやオタマジャクシを食べる困りものアメリカザリガニは池に戻さず食べた方がよいという説明で納得。初めて食べるお母さんたちや子どもたちは「おいしいじゃん！」と思わずうなづきます。おとうさんのひとは顔をそむけて食べられませんでした。こどもたちは荒川で投網に入ったハゼやエビなどの魚にさわって大騒ぎ。生き物に触る感触を楽しんでいるようです。



卵からかえったばかりのオオカマキリの子ども

そのうちにミニヨシズ作りが始まりました。個人用に小さな作業台を使って行うもので、薄井も始めて挑戦。いままでの大きなヨシズ作りよりはるかに簡単。これまでは「つつろ」に糸を巻きつける方法を覚えるのが一苦労だったのが、今度のは、穴に通すだけ。ミニヨシズは小さくて、絵や写真を飾ったりするアクセサリーに最適です。私の作品は幼い女の子にプレゼントしました。そんな遊びをして時間がゆっくりと過ぎていきます。気がつくともう4時。

こんな素晴らしい五色池になったのだと実感した一日でした。

自然観察

この日の自然観察で見かけたものを列記すると。

植物

ワレモコウ(今回数箇所に移植しました)、ヨモギ、カラスノエンドウ、タコノアシ、フトイ、スギナ、ギシギシ、シロツメグサ、アカツメグサ、セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、シロバナタンポポ、ヨシ、オギ、ススキ、チガヤ、ヤナギ、サクラ(自生したもの)

水生生物 シオカラトンボのヤゴ、

甲殻類 アメリカザリガニ、クロベンケイガニ

昆虫 クビキリギス、アオモンイトトンボ、オオカマキリ(卵から生まれたばかりの幼虫 写真)

魚類 アシシロハゼ、アベアゼ、ヒラタエビ、スズキ(稚魚)、ボラ(稚魚)、イワシ?(稚魚)

爬虫類 カナヘビ

その他 クモ(名称不明)

(以上 薄井洋一)

参加した子どもたちの感想

4月17日(日)に中土手五色池に行きました。さいしょは水のきれいな池みたいなのかな、と思っていたけれど、行ってみたら、思った場所とはちがったけど、ザリガニがすごくたくさんいました。スルメイカをエサにしてつりをしたら、60ぴきぐらいつれました。アミですくったりもしました。穴にもぐっているカニもつかまえました。すごくおもしろかったです。お昼になってトンじるを食べました。すごくおいしかったです。また行きたいです。 小松川第二小学校4年 渡辺 一輝



カナヘビがすごくいっぱいとれたよ。カナヘビはかっこよかったよ。きょうりゅうみたいでかんげきしたよ。おなかのあたりがふわふわしていきもちよかったよ。そのうちで一番大きなカナヘビに「カナ子」という名まえをつけたよ！（オスカメスカわからないけどね。）カナ子はあばれんぼうで、ぼくのゆびにかみついた。 平井東小学校2年 小平 岳

つきは、かなへびをもてそうではなかったけれど、もてたよ。でも、しっぽをふりまわして、つきのてに、いきおいよくあたったよ。 平井東小学校1年 小平 月子



小松川池(仮称)で杭打ち 池の図面描く

4月23日、小松川近くの池作り作業が行なわれ、集まった人たちで、現場での図面引きと杭打ちを行ないました。前回の草刈作業で、現地に以前あった「下の池(しものいけ、池が2つ)」と深い排水用の堀が現れ、これを現状のまま利用することに、当初予定の池の形を若干変えることにしました。北側の深い池が少し広くなります。

現地に引いた白線と杭に沿って、池の縁をスコップで掘り、池のアウトラインが決まりました。

池の予定地には葛がたくさん生えており、草を刈った後も太いつるが残っていて、その除去作業を行いました。次は、土木機械で掘ってもらうこととなりますが、葛の根がまだたくさん残っておりそれを人で取り除く作業があります。



次回は5月28日(土)、午前10時から現地集合。池作りに関心のある方はどなたでもご参加ください。

連絡先 03-3654-7240 佐藤

5月4～5日は 五色池春祭り

キャンプ、竹炭^{ちくたん}作り、投網^{とあみ}、ザリガニ釣り、野草と川魚のてんぷら、ヨシ笛、弓矢遊び、ヨシズあみ、布草履^{ぬのぞうり}作り、クズの根から採ったくず粉^{くずもち}で葛餅を作るなどいろんな楽しい行事が目白押し。泊まりのキャンプに参加する人は必ず事前に申し込んでください。

5月4日午前10時に五色池に集合

竹炭作りの準備 完成まで約20時間かかる炭焼きなので、最初のその準備をします。竹を適当な長さに切って割り、ドラム缶の窯(かま)にきちんと並べながら詰め込む作業を行ないます。のこぎりやナタを使いますので怪我をしないように！竹炭と竹酢液がうまく出来たら持ち帰りできます。

クリーンエイド 荒川と五色池に感謝を込めて春祭りの目玉でもある、クリーンエイド！をしましょう！ゴミを数えながら拾って集計します。

テントの設営 竹炭の準備が出来たら、いつものようにトン汁を作って昼食を取り、夜寝るためのテント設営をしておきましょう！

遊びいろいろ テント設営の後は、ザリガニ釣り、ヨシ笛作り・ミニヨシズ作り・弓矢、紙鉄砲、自然観察などに別れて、各自楽しみましょう！夕方から、バーベキューを行います。8時終了予定ですので、泊まらない人も参加できます。

5月5日も午前10時から行動開始

投網・布草履作り 午前中は対岸の下平井干潟へ投網体験と、ミニヨシズ、または木綿の布から草履^{ぞうり}作りを体験する2つのコーナーに別れます。草履作りを希望する方は、鼻緒と木綿の布(裂いて使う)をご持参ください。

竹炭完成掘り出し 昼食後、後片付けをしましょう！テントの片付けや道具の片付け、それと、竹炭が完成してるはずですので、みんなで掘り出しましょう！

以上の様な内容で、2日間楽しめますが、みんなでやる春祭りです。参加するあなたが主役。みんなで体を動かし、いろいろな準備をし、助け合いながら楽しみましょう。一応、集合時間は決めてありますが、都合のつく時間に来て、お好きな時間に帰っても大丈夫です。お帰りの際には、スタッフに一声かけてからお帰り下さい。

参加費：2日間通し参加 大人 1500円 子供 1000円

(保険代含む) **1日だけの参加** 大人 1000円 子供 500円

持ち物：キャンプする方は、毛布か寝袋(要予約)・おわん・箸・皿・タオル・汚れてもいい服装・トン汁用の具(一口サイズに切って来て下さい)・長靴・暑さ対策グッズ
バーベキューの食材や飲み物(アルコール)の差し入れ大歓迎！

問合せ・申込み 中土手に自然を戻す市民の会
3654-7240 Fax 03-3654-9188
江戸川区東小松川3-35-13-204

